

町長の行政報告を

お知らせします

八峰町9月議会定例会が12日から21日までの会期で開かれ、町長の行政報告や補正予算、一般質問のほか提出された議案について審議などが行われました。
町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。



役場新庁舎の設計概要が年内に完成

役場庁舎の建設予定地については地権者のご協力により同意が得られ、7月17日には「土地収用法」に基づく「庁舎建設用地町民説明会」をフアガスで開催し、同24日には目名湯の関係水利組合等への説明会を実施するなど、関係団体等の意見を求めると共に、申請手続きを進めているところであります。

一方、庁舎設計については先の議会全員協議会の意向に沿って、木造2階建て、約2千㎡という内容で「設計業者選定プロポーザル」の作業に入っております。

10月上旬には設計業者が決定され、年内には新庁舎の設計概要を示すことができる予定です。

介護保険料の過徴収が判明 返還対象者へ通知書を送付

介護保険料については、平成18年度の賦課において激変緩和対象者の抽出漏れが生じ、多く納付された保険料の還付が必要になりました。

そのため、今回の一般会計補正予算に保険料の還付分を

計上しております。
なお、還付対象者への通知は既に送付しており、還付については予算成立後速やかに対処いたします。改めて対象者の皆様にお詫びを申し上げます。

2か月で約2300人が利用 あきた白神体験センター

7月1日にオープンした「あきた白神体験センター」は、白神山地と日本海の豊かな自然との触れ合いを通して様々な体験活動が出来る宿泊研修施設です。特に全室オーシャンビューであることやバリアフリー対応になっていること、テレビや各種旅行雑誌などにも取り上げられてきたことにより、申し込みも多く、利用者の反応も上々であります。

8月末までの利用概況は、日帰りの研修室の利用については16団体、379人。宿泊については93団体、1,899人が利用され、合わせて109団体、2,278人となっております。
他施設にはない海と山の両面の体験活動メニューを備えている点で人気が高いようであります。



人気のシーカヤック体験

山の活動では「ブナの天然林観察」が最も多く、以下「二ツ森登山」・「十二湖散策」など。海の活動ではトッポが「海水浴」、次いで「海辺の自然観察」・「シーカヤック」・「磯釣り」の順となっております。
また、町内の施設などを活用した「パンづくり」・「豆腐づくり」なども人気があるようです。
今後とも県・ハタハタ館・体験活動の指導機関・団体等との協議を重ね、さらに魅力的な体験活動を提供するとともに、施設の円滑な運営に努めていきます。

どぶろく特区認定 魅力的なツーリズムの展開を

八峰町の全域を「白神の里八峰どぶろく特区」として、国から特区計画を認定する旨の通知を受けていましたが、9月4日に首相官邸で認定書を拝受してきました。この認定により、農家レストランや民宿などを営む農業者が、自ら生産した米を原料に濁酒を製造できることとなりますが、酒税の納税義務者として必要な申告納税や記帳事務が生じますので、税務署をはじめとする関係機関の指導を仰ぎながら農業者の方々にこの



首相官邸にて

特区制度を普及して参りたいと考えています。
今後、地域食材とともに濁酒を提供することによって、グリーン、ブルー、エコ・ツーリズムが更に魅力的なものになるものと期待しています。

自殺者ゼロを目指して 各種の予防事業がスタート

自殺予防対策については、住民全体の心の傾向を把握し、今後の対策に役立てることが重要です。そのため、秋田大学医学部に依頼し、6月に基本健康調査受診者全員1,205名の「心の健康づくり調査」を実施しました。

その結果を元に、10月28日予定の自殺予防フォーラムにおいて、佐々木久長准教授から「調査から見えてくるもの」と題した講演を開催する予定です。

また、8月から9月には、「心と命を大切に」をテーマとした作文コンテストと、「いのち輝く」をテーマにしたフォトコンテストを実施し、自殺予防の気運を高めるための事業を創意工夫し展開しているところであります。

8月には自殺予防に取り組んでいる心のふれあいサポー

ター「陽だまりの会」の皆さんが、交流サロン「らべんだー」と「しーがる」を埴川健康センターとフアガスに開設して下さいました。人と人とのつながり、心と心のつながる癒し空間を提供下さったことに心から感謝を申し上げます。今後とも自殺ゼロを目標に住民と行政が連携し、継続して事業を推進して参りたいと思っております。

「ごみのステーション化に向けて 費用の助成を補正予算に計上

ごみのステーション化については、地区説明会が5月の中浜地区を最後に全15地区で終了しており、概ね賛同していただいたところであります。

ごみステーション設置に伴う費用の助成についてはできるだけ平等性が保たれるよう、各自治会へ均等割5万円と1世帯当たり2千円の合計額を助成する内容で本議会に補正計上しました。設置箇所とステーションのスタイル等については、現在、各自治会と個別に協議中であり、できるだけ早期に方向付けしたいと考えています。

秋田わか杉国体関連事業 炬火リレー・デモスボ行事開催

秋田わか杉国体・秋田わか杉大会の開催に先立ち、「大会旗・炬火リレー」が8月31日に行われました。フアガス前において出発式を行い、八森地区と峰浜地区の一部でリレーされ、三種町へ引き継ぎました。

また、秋田わか杉国体デモンストレーション「スポーツ行事」として、9月2日に水沢山ブナの森公園で実施した「トレッキング」では、さわやかな天候のもと、県内各地



大成功に終わったトレッキング

から関係者を含め151名の参加がありました。参加者は地元ガイドの案内により、世界自然遺産の「白神山地」を眺めつつ、雄大な自然に親しんだところであります。
また、開閉会式会場においては、白神八峰商工会及び観光協会による飲食物提供などが行われ、町をあげて参加者を歓迎致しました。
本大会開催にあたり、ご尽力を頂きました秋田県山岳連盟及び、ご協力をいただきました団体、関係各位には深く感謝を申し上げます。